

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	嬉野市立吉田中学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<p>①地域とともにある学校づくりについては、「つながりを大切に、未来を創造する【吉田学】の実践」というテーマで、ちゅうでん教育奨励賞に輝いた。志を高める教育は、これまでの地域と一体になった教育活動の実践と研究によるものである。また、国際交流・国際貢献については、多くの海外講師等を教育活動に取り入れ、体験的な活動ができた。②確かな学力は、全国・佐賀県学習状況調査の結果をみれば、大変良好である。しかし、これに甘んじることなく、新学習指導要領にそった「深い学び」を教師が探求していく必要がある。③豊かな心の教育については、道徳教育・人権・同和教育ともに、充実した教育活動が展開できたため、子供同士の交友関係がよくなった。④安全で安心な学校づくりは、ケース会議の内容を充実したり、専門機関を活用したりして、個のニーズに応じた支援ができた。食育では、2年連続、県の表彰を受け、家庭の協力と生徒自身の意識の向上が図られた。⑤の働き方改革では、行事の精選面で改善できたが引き続き、部活動時間の軽減を図る必要がある。</p> <p>○次年度の取り組みとしては、深い学びについての研修を重ねるとともに、生徒たちが考えを伝えあい、学びをアウトプットできる力を向上させる。また、心身ともに健康で、どの生徒も学校生活を生き生きと過ごさせたい。</p>
------------------	--

2 学校教育目標	賢く 優しく たくましい 生徒の育成 ～地域とともに、9カ年の学びのなかで～
----------	--

3 本年度の重点目標	①確かな学力の育成、②豊かな心の育成、③健全な心身の育成、④働き方改革、⑤地域とともにある学校づくり
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上とする。	・校内研修等で学力向上対策シートを用いて教職員間でマイプランを共有し、取組の促進を図る。							
	○「吉田メソッド」の深化	○相手意識や目的意識をもった「伝え合い活動」を授業で実践した教師を80%以上とする。	・①相手意識・目的意識をもった課題設定の工夫 ②思考が深まるような「考える」「伝え合う」過程の工夫 ③「ふり返し」を生かす工夫の3つを意識して授業を行う。							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○自己肯定感を高め、自他を尊重できる生徒の育成していくために、全教職員が人権・同和教育に取り組む。	・道徳の研修の充実 ・生徒主体の人権学習の推進							
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○生徒・保護者のいじめのない学校という肯定的な評価80%以上をめざす。	・自他を尊重し、支持的風土のある学級・学校づくり ・アンケート等による早期発見と組織的対応と教育相談の充実							
	◎自らの夢や目標の実現に向けて主体的に学び合う態度を培う教育活動の推進	○将来の夢や目標の実現に向けて努力する気持ちをもつ生徒80%以上をめざす。	・全校スピーチなどを通して自らの夢や目標を語ろうとすることで、生徒の将来設計能力や意思決定能力を高める。							
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒80%以上をめざす。	・個別の健康観察を実施し、基本的な生活習慣の改善を図る。 ・食育だよりの発行、内容充実を図る。							
	●「安全に関する資質・能力の育成」	●生徒の生活事故・交通事故0(ゼロ)をめざす。	・交通安全教室や避難訓練等の際に自他の安全について生徒が意識できるようにする。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。	・時間外勤務時間、月45時間以内を目指す業務改善							
	○部活動の休日及び活動時間の適正化	○部活動休養日の設定を週2日(平日1日休日1日)の徹底を図る。	・平日は定時退勤日と水曜日を休養日とし、休日は県一斉休養日を含み1日以上の休みをめざす。 ・部活動終了時刻の見直しを図る。							

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	

○地域とともにある学校づくり	○つながりを大切に、郷土愛を育む「吉田学」の推進	○地域と連携したボランティア活動への参加生徒数を全校生徒数の60%以上にする。	・「吉田学」を実施する際に、地域人材を活用する。 ・地域から学ぶだけでなく、地域に還元する活動を取り入れる。							
----------------	--------------------------	---	---	--	--	--	--	--	--	--

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------